

## 16 皮膚科後期研修プログラムの概要

### 1. プログラムの目的

皮膚科の後期研修における大きな目的は、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医として求められる知識・技術を習得することであり、結果として、その申請資格を得ることです。

専門医申請の資格は以下の通りです。

1) 継続して5年以上日本皮膚科学会正会員であること。

2) 5年以上、日本皮膚科学会認定専門医研修施設(以下、研修施設)で臨床研修を行い(初期臨床研修を含む)、うち計1年以上は主研修施設で研修を行う。

当院は、上記の研修施設に該当します。主研修施設は主に大学病院です。従って、先に1年以上の主施設研修を終えていなければ、当科での研修後に必要となります。

当科での後期研修期間は一応3年間ですが、主施設研修も考慮して、期間については弾力的に考えたいと思います。

なお、期間中、希望があれば、他科での短期研修などの希望にもできるだけ応えたいと考えています。

### 2. 研修内容

外来；1～2ヶ月の指導の後、外来で実際に診察業務を行う。

病棟；入院患者の診療を行う。

手術；外来／病棟を問わず、皮膚科手術において助手および術者として経験を積む。

研究・その他；当科での定期的な検討会に参加し、皮膚病理について学ぶ。また、新潟大学医歯学総合病院皮膚科の検討会にも定期的に参加。貴重な症例等について検討し、学会や専門誌等で発表する。

\*なお、当直など、専門を問わず、病院として求められる業務については、当院の規定に従うものとする。

\*\*日本皮膚科学会認定皮膚科専門医の詳細については、日本皮膚科学会ホームページ参照。